

# 大門坂

6月臨時号 月田小学校だより

平成29年6月23日(金) 校長 小林幸雄

## 月田の民話版画集

### ～先人の偉業に触れて～

今から約半世紀前、月田小の5年生が一冊の文集を作成しました。月田に伝わる民話をお年寄りに聞いて、肉付けし、再話した文集『月田の民話』です。さらに6年生に進級し、卒業を間近に控えたころ、子どもたちは卒業文集の制作に取り組みます。5年生の時に再話した月田の民話に版画を加えた民話版画集でした。



指導者は、中西<sup>きよし</sup>淑先生(故人)です。中西先生は、児童文学者・大川悦生と交流を深め、大川氏の勧めで、月田の民話の再話に取り組んだのです。

大川悦生と言えば、著名な童話作家です。

しかも大川氏は、5年生の秋、わざわざ月田の地を訪れ、子どもたちと触れ合ったり民話の素晴らしいさを教えてくださったりしたというのです。

『月田の民話』にある中西先生の奥付を見て、さらに驚くべきことを発見しました。『月田の民話』に集録された民話「あほう村の話2・検地」を基にして、昭和44年、大川氏が『あほう村の九助』(ポプラ社)という絵本を発売したという事実です。早速、図書室で探してみますと、幸運にもすぐに『あほう村の九助』が見つかりました。

奥付には、大川氏が次のように記しています。

この作品の原形は、かすある日本の民話のなかでも、おもしろさと意味のふかさをもっともよく伝えてくれる一つだと思う。しかも、これをわたしに発見させてくれたのは、岡山県の山あいの子どもたちだった。(中略)わたしもそこへ行って、子どもたちと村の年寄りをたずね、いっしょにム

カシを聞いたが、やがて、子どもたちは卒業記念の学級制作として、すばらしくりっぱな民話版画集『月田の民話』(指導・中西淑)をまとめ、送ってくれた。

皆さん、どうですか。凄いことでしょう。

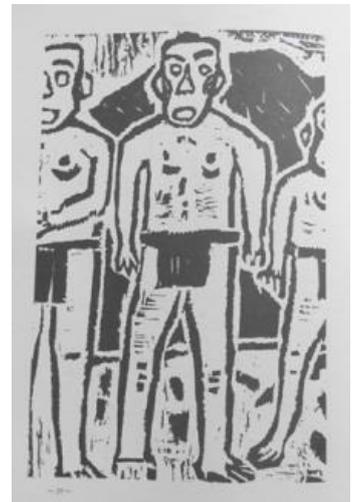
子どもたちが月田に言い伝えられてきた民話を再話したものが、結果的に一冊の絵本として発刊されたという事実です。

当時の5年生は、今では、63歳か64歳になられているはずです。

この大門坂を読まれて、あの頃のことをなつかしく思い出される方がおられるはずです。

半世紀も前のことです。月田駅を発車する列車は、真っ黒な煙を吹き上げるSLでした。トンネルを抜け、月田小に近づくと、ポオーという汽笛が聞こえたことでしょう。

月田小の歴史に残る一つの素晴らしい実践だと私は思うのです。このような先人の素晴らしい実践に触れると、謙虚な気持ちになります。



<葉竹立てろ!というお達しにハダケで立つ人>  
襟を正し、日々の実践にあたらなければと思うのです。

尚、この実践の価値を見抜いた月田の先人は、『月田の民話』を復刻版として発刊されています。このことが、『月田コミュニティ便り』No.28に記されています。

## 全校児童朝礼で読み聞かせ

もし、当時の5年生が、古者に聞き、再話していなければ、消えてしまっていた月田の民話です。

ぜひ、子どもたちに、読み聞かせたいと思いました。6月20日（火）の児童朝礼で、披露することになりました。

読み手は、絵本の読み聞かせのプロ・安田先生にお願いしました。



さすが安田先生です。挿し絵の版画を拡大し、それを提示しながら読み聞かせをされました。

以下に、その主な内容を記します。

ある年、年貢を払わないあほう村に、業を煮やした代官が、検地にくるといっておふれが出ます。あわてたのは、あほう村の人々。「どがいすりゃあえんじゃろう」とおおさわぎになります。そこへとんちのきく九助<sup>くすけ</sup>さんが現れます。九助さんと村人が一致団結し、とんちをきかせ、代官をさんざんな目に合わせてしまうという、まったく愉快な話です。

安田先生の軽妙な語りに、子どもたちは釘付けとなりました。とんちの意味を理解した子は、にやにやしながら聞き入っていました。

『あほう村の九助』と、その原作である『月田の民話』とを読み比べてみると、その微妙な違いを感じる事が出来ます。それぞれの良さを多くの人に感じてほしいものです。

さて、月田に伝わる民話には、昔からの月田の生き方や、月田の思いを引き継いでいるものだと思います。

昔から、たとえ村がひっくり返るような困難な出来事があっても、月田の人は心を一にし、力を合わせて頑張ってきた、…その証ではないかと思うのです。複雑な今の時代だからこそ、月田の民話に学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

## 人権スポーツふれあい教室

5月11日、湯郷 Belle の選手3名とコーチが、月田小学校に来てくれました。選手との触れあいは、子どもたちを熱狂させました。

さて、この日思いがけない再会がありました。それは、松浦先生と教え子の再会です。コーチの津本さんが、松浦先生の教え子だったのです。

小学校を卒業以来の再会です。校長室での短い立ち話でしたが、心温まる瞬間でした。

翌日、津本さんは、わざわざ湯郷 belle の選手の映ったクリアファイルを届けてくださいました。

お世話になった湯郷 Belle の応援に行きたいものです。



人権スポーツふれあい教室 真庭市立月田小学校

撮影日：平成29年5月11日（火）

## 7月行事予定

- 1日（土）2年学P（親子料理）
- 3日（月）～復習週間スタート
- 4日（火）児童朝礼／参観日／救急法／学級懇談
- 6日（木）クラブ 7日（金）地区児童会
- 10日（月）あいさつ運動
- 11日（火）短縮⑤／一斉下校
- 13日（木）短縮⑤／一斉下校
- 14日（金）読み聞かせ／短縮⑤／一斉下校／ALT
- 18日（火）短縮④／ALT
- 19日（水）終業式／短縮③／給食最終／個人懇談
- 20日（木）サマースクール／短縮③／一斉下校
- 21日（金）サマースクール／短縮③／一斉下校  
真庭支部学童水泳記録会（久世プール）
- 24日（月）サマースクール／短縮③／一斉下校／  
個人懇談／月田納涼祭（天神祭り）
- 25日（火）真庭支部学童水泳記録会予備日